



コンパクトシティに向けたまちづくりと 自転車施策について 【香川県高松市】



高松市のプロフィール



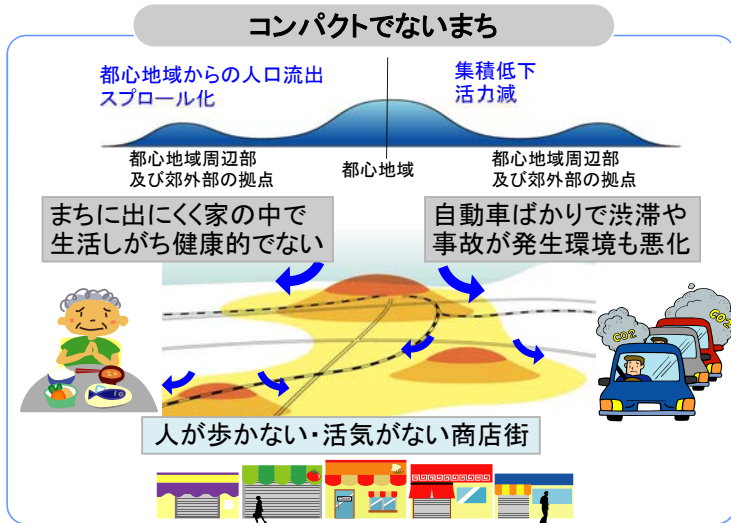
- 瀬戸内海に面し, 温暖・少雨
- 平地が多い地形



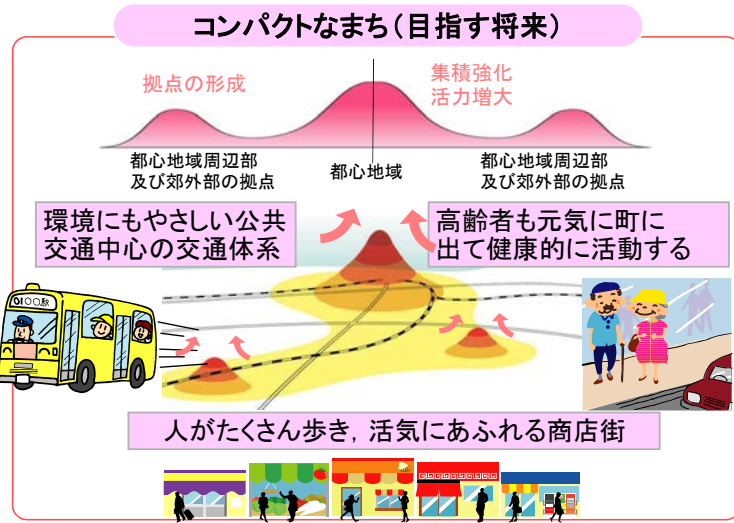
自転車利用が多い



本市が目指すコンパクトなまち



住みたくない、住み続けられない
 人や企業が流出する
 税収が減少
 衰退するまち



たくさんの人が住み続けたい、続けられる
 人が住む、企業が来る(流出しない)
 税収が安定
 持続可能なまち

コンパクトなまちを目指すことは、人が行きかう賑わいあふれるまち、
 将来的に発展を支える基盤を形成することにつながる

本市が目指す将来都市構造⇒『多核連携型コンパクト・エコシティ』

都市化

郊外化

逆都市化

再都市化

再集積することで

- 都市の持続的な発展
- 人口減少・少子超高齢社会を支える都市構造の構築
- 環境負荷の軽減
- 公共交通等のサービスレベル向上

❖これからの都市構造

全国的都市で
このような歴史
を歩んできた...

凡例	
用途地域等	——
高速自動車道	——○——
主要道路	——
JR	——+——
ことでん	——○——

凡例	
集約拠点	●
地域交流拠点	●
生活交流拠点	●
広域交流拠点	●
機能別拠点	○
産業拠点	○
歴史・文化・自然拠点	○
スポーツレクリエーション拠点	○
学術研究拠点	○
連携軸	——
公共交通軸	——
環境軸	——
環状・連携軸	——
ゾーン	——
市街地ゾーン	——
農住調和形成ゾーン	——
山林・丘陵地ゾーン	——

拠点名	要件
広域交流拠点 (概ね2km)	✓人口集中地区が存在すること ✓複数路線の鉄道とその結節点が存在すること
地域交流拠点 (概ね2km)	✓人口集中地区、準人口集中地区が存在すること ✓鉄道駅が存在すること
生活交流拠点 (概ね1km)	✓一定の人口集積がみられること ✓鉄道駅またはバス停が存在すること

集約拠点: 17地区	
広域交流拠点	1地区
地域交流拠点	8箇所
生活交流拠点	8箇所

総合都市交通計画（H22.11策定）

【基本理念】

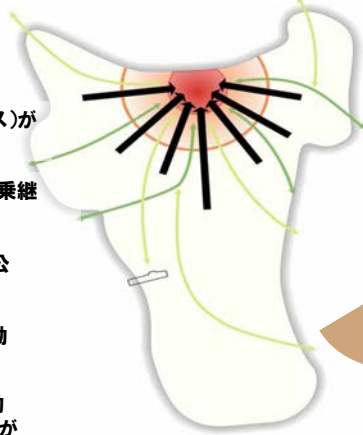
人と環境にやさしく 快適で利用しやすい 公共交通体系の構築

【基本方針】

- だれもが利用しやすく安全・安心な公共交通体系
- 環境負荷の小さい公共交通体系
- 自動車からの転換を促す快適な公共交通体系
- 都心へのアクセスとまちなかの回遊性を支える公共交通体系

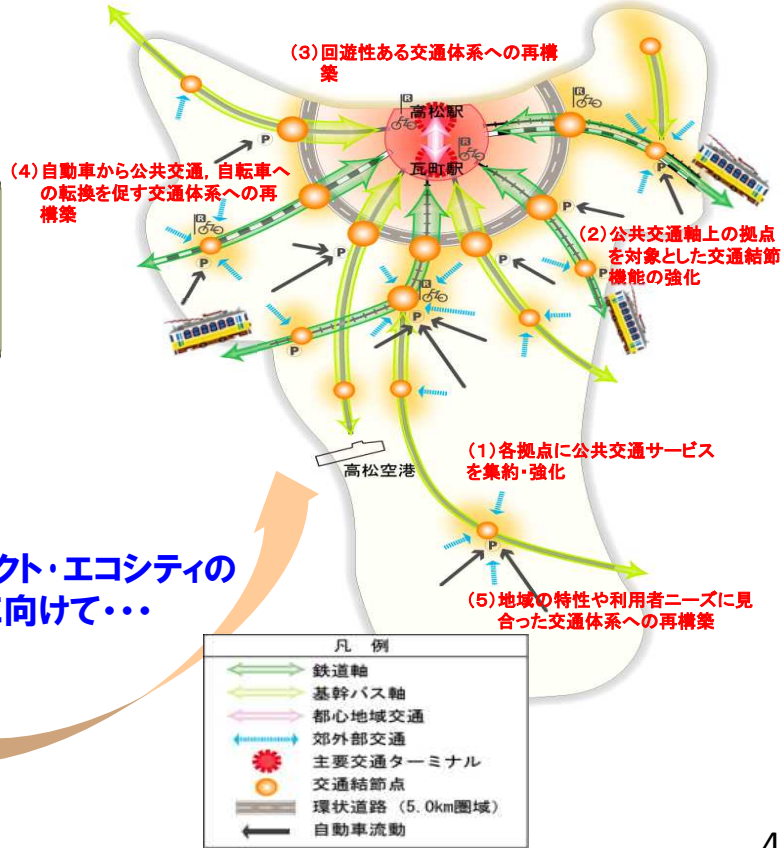
【現状】

- (1)公共交通サービス(特にバス)が都心地域に一極集中
- (2)自動車から鉄道、バスへの乗継(交通結節機能)が不十分
- (3)回遊性の低い都心地域の公共交通
- (4)都心地域へ向かう交通流動の多くは自動車利用
- (5)都心地域へ向かう交通流動の多くは自動車利用、利用者が少ないバス路線



コンパクト・エコシティの実現に向けて...

【将来交通体系のイメージ】



高松地区における自転車を利用した都市づくり計画の策定（H20.11）



H20.11 「高松地区における自転車を利用した都市づくり計画」 策定

計画の策定・推進組織

自転車を利用した香川の新しい都市づくりを進める協議会
高松地区委員会
会長：高松市長

幹事会

幹事長：高松市市民政策局長

部会

安全空間
確保部会

駐輪対策
部会

安全教育
部会

地域活性
部会

利用促進
部会

事務局

国土交通省
香川河川国道事務所
道路調査課

高松市
まちなか再生課

香川県警察本部
交通企画課

高松市
商工労政課

香川県
環境政策課



自転車利用を取り巻く状況および問題点

- ◆ **社会の動き** 将来予測（平成17年→平成62年）
 - 人口：約7割に減少（約42万人→約31.2万人）
 - 高齢化率：20.2%から42.9%へ倍増

- ◆ **多い自転車利用者**
 通勤通学時における自転車利用：全体の27%（全国平均の約2倍）
※ 国勢調査（H12）

- ◆ **著しい自転車事故の増加と守られていない自転車マナー**
 - ・ 県別人口千人あたりの自転車事故件数（H19）：香川県12.1件（ワースト1位）
※ 交通事故統計年報2007（(財)交通事故総合分析センター H19）
 - ・ 高松市の自転車事故件数（H19）：平成10年比1.6倍増
※ 香川県警察本部 H19
 - ・ 高松市の自転車事故原因（H19）：安全運転義務の違反 95.2%
※ 香川県警察本部 H19
 - ・ 香川県の自転車年間の事故件数（H19）：10代が全体の35%（最多）
※ 香川県警察本部 H19



自転車利用の都市づくりの実現に向けた柱と基本施策、計画の体系

都市づくりの目標

人と自転車が笑顔で行き交うサイクル・エコシティ高松

都市づくりの方向性

- (1) 人と環境にやさしい都市づくり
- (2) 自転車と公共交通を軸とした都市づくり
- (3) 楽しく、便利で健康の都市づくり

3つの柱

快適な自転車利用のための環境整備

自転車利用ルールの遵守・マナーの向上

自転車利用のさらなる促進

【 代表的な施策事例 】

- ① 自転車ネットワーク整備方針の策定
- ② 車道空間における自転車道整備
- ③ 自転車の正しい乗り方の周知、街頭指導
- ④ 放置自転車を活用したレンタサイクル事業
- ⑤ 買い物客が安心できる商店街通行環境
- ⑥ 「ちゃりんこ救急ステーション」整備



整備方法:車道空間における整備

自転車道の整備(構造分離)

◆概要

- ・ 自転車交通量が多く、車道車線数の削減が可能な路線に設置
- ・ 防護柵、縁石等による分離
- ・ 原則両側設置

◆代表路線

- ・ 市道 五番町西宝線(22年度より整備)

◆配慮事項

- ・ 車道車線減に伴う渋滞発生、迂回路の設定
- ・ 交差点部の自転車横断帯の走行方法
- ・ 細街路からの自動車との接触の危険性

整備後



経緯

- ・ H20.1 「自転車通行環境整備モデル地区」指定
- ・ H21.2 社会実験実施(3週間)

安全空間確保部会で
整備詳細協議

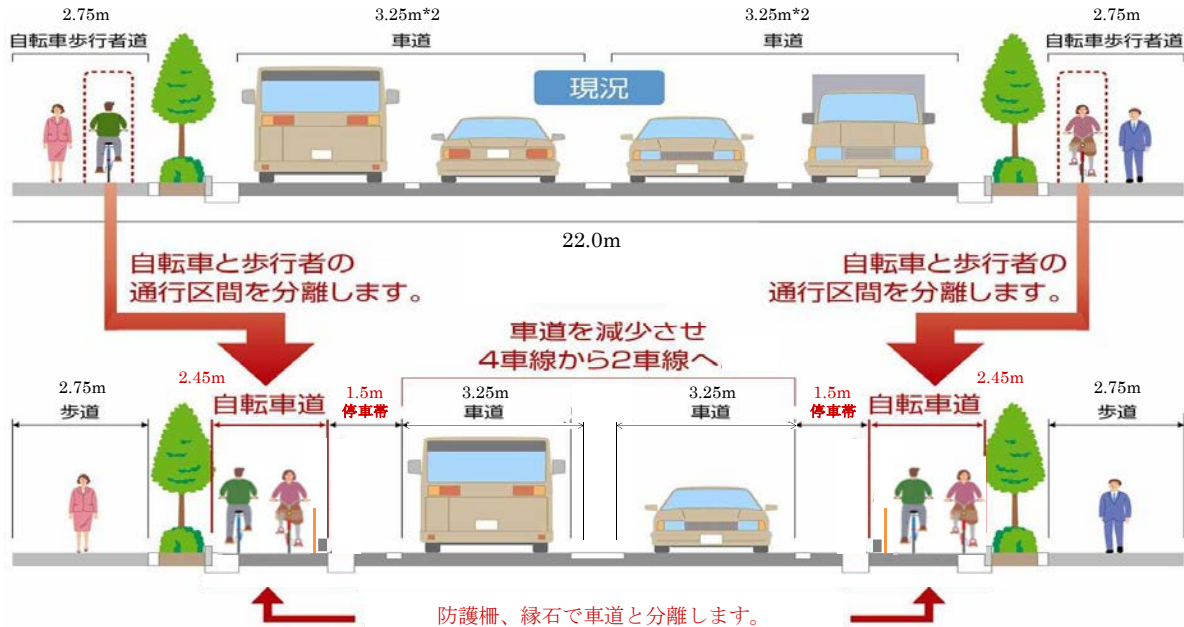
- ・ H22.2 : 五番町西宝線の1.8km区間について、H22年度からの整備を公表



整備方法：車道空間における整備【市道 五番町西宝線】

自転車道の整備（構造分離）

車道を「4車線→2車線」に削減して、現車道上に自転車道を整備



施策：自転車の正しい乗り方の周知、街頭指導

◆自転車関係法の改正（H20.6施行）

- ・ 普通自転車の歩道通行可能要件の明確化
- ・ 乗車用ヘルメットの着用努力義務

◆公安委員会規則の改正（H20.9以降）

- ・ 幼児2人同乗用自転車の普及について
- ・ 携帯電話、傘差し、ヘッドホン使用禁止



●自転車の正しい乗り方の周知

- ・ 自転車免許交付事業（小学4年生）
- ・ 自転車モデル校事業（高校4校、中学3校）

●街頭指導

- ・ 自転車マナー育て隊（交通安全協会、交通安全母の会等）による街頭指導
- ・ その他啓蒙活動（交通安全啓発パレードなど）





基本施策：放置自転車を活用したレンタサイクル事業の実施

◆経緯

駅周辺の放置自転車問題の深刻化
利便性の高い端末移動手段の確保

- ⇒ H12.11 社会実験を実施
- ・ H13.3 条例・規則制定

◆事業概要

- ・ レンタサイクルポート： 7箇所
- ・ レンタサイクル台数： 約1,250台
- ・ 受付時間： 7:00～22:00
- ・ 利用料金： 100円/日、他に定期料金設定

◆利用状況（H23年度決算）

- ・ 収入： 約29百万円、支出： 約53百万円
- ・ 年間約33万人が利用

※ 利便性向上と経費削減を目指し、システム再構築を22年度に実施。（総務省ユビキタスタウン構想）



商店街における自転車乗入れ禁止社会実験（地域活性部会）



施策：買い物客等が安心して商店街を通行できる環境の整備

◆商店街における自転車走行は、長年の課題

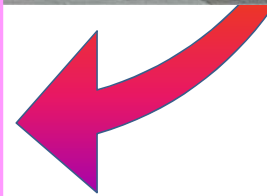


◆社会実験の実施
(H24.4.16～6.15の2か月間)

- ・ 期間中、全日・終日規制（手押し可）



◆H24.7.16～公安委員会による正式規制





施策:「ちゃりんこ救急ステーション」の設置

◆市長「マニフェスト2011」

- ・ 60の施策の一つとして、「**日本一のちゃりんこ便利都市の実現**」を掲げる

快適な自転車利用環境整備や、自転車利用ルールの遵守・マナー向上の推進はもとより、利用者のニーズに沿った、きめ細やかな施策の展開が重要

◆「ちゃりんこ救急ステーション」の設置

（平成24年度実施）

- ・ この一環として急な空気抜けに対応できるよう、市内のコンビニエンスストア90店舗の協力を得て、「ちゃりんこ救急ステーション」として、空気入れを配備する。
- ・ このステーションを、安全利用に関する啓発の場として活用するとともに、利用者の意向を把握しながら、対応内容の充実を検討することとしている。



【協力店舗に掲出されるステッカーデザイン】
公募作品:里内 美沙さん(専門学校穴吹デザイン
カレッジ グラフィックデザイン学科2年)

今後とも、「コンパクトなまちづくり」はもとより、関係機関等とも連携のうえ、ハード、ソフト両面の施策を展開し、安全かつ快適な自転車利用を市民が実感できる「日本一のちゃりんこ便利都市」の実現に向け、積極的に取り組んでまいりたい。

